

## 豊橋・東三河を障がい者アートの聖地に!! —世界に通用するオリジナルコンテンツを創造する! トヨハシブリュット&とよはし音楽祭&障がい者アート美術館 国境を越え世界から作品がやってくる! ART CREATION SINCE 2005



TOYOHASHI  
**BRUT**  
ART CONTEST

I'm impressed sincerely.  
I love from the bottom of my heart.  
Art will connect people crossing races  
and countries!!

Application Guidelines  
The 5th Toyohashi Brut Art Contest  
Application from Thursday, June 1, 2023 to Sunday, December 24

世界は今、破壊と暴力の姿を見せている。私たちにできることは、戦いではない未来を描く価値の創造にある。言葉も人種も生まれた場所も関係ない。それは、障がい者アート(芸術)で、世界の人たちを結ぶこと。世界はひとつ、多くの国の障がい者アートを通じて、つながること。共生の実践を行うことであろう。その発信の拠点を日本のこの地域東三河に創ることにある。

こどもの頃、自由に空想したり、描いたり、演奏したり、束縛もなく、制限もなく表現する楽しさがあった。そして大人になる過程でそれは失われていった。障がい者アートからその気づきを伝えたい。その先には、ごく普通に生きる人たちが、人間性を真に取り戻していく。そして次の時代、文化が社会のキーワードとなり、芸術(アート)が人間として一番の生きる価値になり目的となる。人々の生きる感性が地域に溢れ、ヒトとヒトが認め合い生きる共生社会に一歩近づいていく。

ここしばらく、私たちの地域経済は、大企業でもなく、製造業でもなく、流通業でもない。世界に類をみない日本の地域文化や芸術で、暮らしを維持していく必要がある。グローバル経済は、お金を地域に落とさない。地域にあるお金を地域からどんどん流失してしまう。結果、人口減と仕事が無くなっていく。これからの近未来、地域にテクノロジーが進化して育つまでの期間は地域にある文化芸術と、新しく世界に通用するコンテンツをつくり、豊橋・東三河を訪れる人々を増やさない。そのコンテンツのひとつが、今回提案するトヨハシブリュット&とよはし音楽祭&障がい者アート美術館である。

今年に入り、海外からの旅行者が増えている。現在の円安状況は、海外からの旅行者にとり、国内での滞在費やお土産に持ち帰るグッズの割安感があるのか。特に京都、大阪、沖縄、北海道と欧米からの旅行者の多さが目を引く。近い未来に、豊橋・東三河に障がい者アートを目的に、この地を訪れる人々が増えることに期待してみたい。

The Challenged festival of music with mental diseases  
**TOYOHASHI Music Festival**

The period are about to change! Toward people in Asia countries not only Japan, we'll be bridges music the future between neighbors. By living together not just smiling, but physical disability and expressions will cross a barrier of the coexistence society. We want to send many messages to the world.

The 14th  
Aichi Challenged Creative Award / Challenged Music Contest / Competition

1. Lyrics category 2. Compositions category 3. Lyrics, Compositions and Performances category  
Application Period: Tuesday, 1st August 2023 - Thursday, 20th November 2023  
Competition: The Large Hall of TOYOHASHI City Culture Hall: Saturday, 10th February 2024

Organizer / Aichi Challenged Creative Award Competition executive committee: WACNET, Fukui, Aikawa Child Center, Shikani / Aichi Prefecture Toyohashi City Toyohashi Board of Education Toyohashi Cultural Foundation The Church of Shikani The Hasegawa Aichi Shrine Toyohashi News FM AKB3, Watarumi FM FMPSAQ Toyohashi Cable Network, Inc.etc

Address & Contact  
14-1 Minakawa-2chome, Toyohashi, Aichi 466-0602, Japan  
WACNET, Fukui, Jiyuikogyo Chiki Center  
TEL: +81-0532-64-3319 / FAX: +81-0532-64-0702  
www.wacnet.jp

### エピソード1-トヨハシブリュット SINCE 2018

私たちは、18年前から障がい者の芸術活動の推進を図っている。12年の歴史をもつ「一枚のはがきアートコンテスト」の作品は全国から毎年1000枚を越し、「トヨハシブリュットアートコンテスト」は昨年基準に達した応募作品で139点。その内海外からの作品も21点。私たちが今できることは、多くの人々に障がい者アートから、表現の自由や可能性のメッセージを贈ること。人々に今の社会の見えないバリアを取り除くこと。人々にそれに気づいてもらうことにある。

トヨハシブリュットは、障がい者アート作品を国内外から応募ができるアートコンテストである。3年前には海外から70作品、2年前は40作品で、アフリカ中南部以外、全世界から応募作品が送られて来る。今回が第4回。約150作品の中からベストテンを含む約50作品が展示された。

トヨハシブリュットには、一つの大きな想いがある。自己の欲にまみれて周りを顧みないひとや、謙虚になれないひと、ひとりひとりに向かい障がい者も感性が、作品が気づきを与える。清い純粋なところに帰るチャンス、そして再出発する。世界もまた、ナショナリズムが台頭して、欲望が渦巻く。障がい者の作品がひとつひとつ届き、豊橋、東三河から少しでも世界を変えていけたらと思う。



### 東三河・豊橋で初めての挑戦 障がい者アートの発表の場となる美術館をつくらう!

わたしたちNPO法人居住支援センターでは、10年間に渡り障がい者アートの展示会を開催するなど、障がい者アートの普及のきっかけとなる活動を行っています。

そして今回、豊橋市のシズビル山として有名な、石倉山にある元旅館を改装し、障がい者アート作品を常時展示する美術館をつくる計画をしています。

しかし、改装資金がまだまだ不足している状態です。

今日の美術館が実現できれば、東三河地域だけでなく他府県からも足を運ぶ方が増え、東三河全体の活性化にも繋がるとも期待しております。

ぜひ、地域活性化のためにもみなさんご支援よろしくお願いたします。

単に障がい者アートの展示場だけでは終われません。WACNETがこの事業で目的としていることは、障がい者アートで広がる新しい価値づくりです。

- イメージ1. 障がい者アーティストと地域アーティストのコラボ創作  
地域で活動しているアーティストと東三河の学生等と共同制作プロジェクト。障がい者の個性と地域の特長をMAXすることで得意なアート作品が誕生する。障がい者アートに興味のない人も興味を持つはずです。
- イメージ2. 障がい者と一緒にお茶ワークショップ  
子どもから障がいのある子どもと触れ合うことで、お互いの理解を深め成長できる機会をつくります。
- イメージ3. 「筆談喫茶」サイレントスペース  
耳や言葉の自由な方がスタッフとなり運営する喫茶店を美術館に併設。一般的な喫茶店とは違う賑わいがある空間を創ります。ほかにはマメなどの特産品を販売することもできます。

### エピソード2-とよはし音楽祭 SINCE 2010

もともと感性豊かな彼女たちは、クリエイターとしては、優れた才能の持ち主である。自分自身をコントロールすることやコミュニケーションの能力を欠き、その場に佇んでいた。とよはし音楽祭は、その社会復帰のきっかけになればと始めた。全国に発信し、自分の曲を自分で歌う演奏する。その舞台が豊橋なのだ。年によって違うが、多いときは300作品少ないときで80作品。その中で選考を経て、約10作品が最後の舞台コンペティションへと進む。輝かしいステージ。今後もみんなで応援していきたい。

### エピソード3-障がい者アート美術館 SINCE 2009

当初、日本財団地域再生プランに応募。現地調査までは順調であったが、行政の支援を得ることができず断念。1昨年は農水省農泊推進プランにトライするが、全国選抜に敗れる。今年は、クラウドファンディングと寄付からトヨハシブリュット「障がい者アート美術館をつくらう!」運動として再スタートさせている。

このアートプランは、WACNET. が14年前から始めている障がい者のアーツプログラムの一貫で東三河に山、森、海、街など複数の美術館と作品収納庫をつくり、地元だけでなく、全国から、アジアからも作品を集め、それが今後この豊橋・東三河のインバウンド観光資源となることをめざすものである。

もちろん、障がい者はじめ高齢者、生活困窮者の雇用の創出と障がい者アート作家の育成と報酬確保も同時に図る。

日本のモノを大切にすることを『もったいないをありがとう』運動として、マレーシアなどアジアの発展途上国の子どもたちの支援と日本のセーフティネットの人々に活用する福祉の仕組みを創りました。ご家庭でまだ使えるけど不要となった、でも捨てるのは「もったいない!」ものがありましたら、WACへお持ちください!!

「もったいない」をありがとう!  
**もったいないファクトリー**

「もったいないファミリー」  
キャラクターデザイン募集中!!

WACNET.のリユース 無料引取りいたします!

- キッチン用品(お鍋&フライパン等)
- 生活雑貨(時計等)
- 食器(新品、中古食器)
- ファッション系(夏物衣料等)
- ベビー・キッズ(夏物衣料等)
- キャンプ・フィットネス・スポーツ(テント等)
- 工具(工具等)
- 楽器・オーディオ(ギター等)
- 文房具(鉛筆等)

問合せ先 事務局 豊橋市南瓦町14-1WACビル2F TEL.0532-54-2666  
デポ 豊橋市瓦町通1丁目18 担当:御倉  
https://www.wacnet.jp/mottainai/